

平成30年度分の募集に係る申請書作成・記入要領（外国人特別研究員・一般/欧米短期）

1. 申請全般について

申請者、候補者は、所属機関の締切日を必ずご確認ください。所属機関によっては本会への提出日の1か月以上前に締め切りが設定されていることがありますので、ご注意ください。

申請書は、様式1（計4ページ）、FORM2（計7ページ）、推薦書（計1ページ）の順番で構成され、計12ページとなります。なお、本会で審査用に申請書を印刷する場合は、白黒印刷となります。

また、特に申請者が常勤でない場合、任期付きである場合、外部資金での雇用である場合においては、申請者の所属機関において、候補者の招へい期間中に同申請者が継続して責任をもって候補者の受入ができるかどうかの確認をお願いします。本事業においては候補者が採用された場合、申請者には募集要項（p5）に記載されている、受入研究者の義務を果たしていただく必要があります。申請時点において、申請者が定年などの理由で候補者の招へい期間中に退職することが予め分かっており、同候補者の招へい期間中に受入研究者を変更せざるを得ないのであれば、申請をお控えください。

2. 様式1（電子申請画面上で入力）について

1) 使用言語

様式1は日本語または英語で作成してください。ただし、英語で作成する場合も、一部、和文での入力項目（フリガナなど）が有りますので、ご注意ください。なお、入力画面上では画面表示を英語に切り替えることができますが、入力後、確認用に生成されるPDFファイルにおける各項目名は日本語となりますので、ご了承ください。

2) 制約事項

a) 様式1には図表・画像の挿入や下線を付すことができませんので、ご注意ください。また、フォントの選択はできません。

b) FORM2、推薦書はアップロードの際に それぞれ指定のページ数（FORM2=7ページ、推薦書=1ページ）と異なる場合、3MB以上のファイルサイズの場合はアップロードすることができませんので、ご注意ください。

3) 入力に当たっての注意

一定期間操作しないとタイムアウトとなりますので、こまめに一時保存をお願いします。様式中の「外国人研究員候補者」、「推薦者（添付する推薦書の署名者）」の情報は、候補者が作成するFORM2の1ページ目（F1）と同じ（各コードの入力、推薦者氏名のフリガナを除く）ですので、これらの項目の入力に当たっては、同ファイルを開きながら同内容を転記すると効率的に入力が可能です。（候補者氏名がウムラウトを使用している等の事情がない限り、様式1とFORM2、さらには推薦書（推薦者氏名）とで内容が異ならないようにご注意ください。）

必須項目（*）は全て入力の必要があります。必須項目以外は入力する必要はありませんが、和文・英文を併記する項目については、どちらも入力することが必要となりますので、ご注意ください。（また、必須項目ではありませんが無所属・無職の方については、記入もれであるかのような印象を書面審査員が持つことがあるようですので、「現職名」欄を下記の注意事項のとおり入力をお願いします。）

また、様式1において入力エラーがあった場合、FORM2、推薦書はアップロード済みであっても再度アップロードする必要があります。よって、FORM2、推薦書のアップロードは全ての項目を入力し、エラーがないことを確認してから行ってください。

4) 様式1の各項目作成に当たっての注意点

入力内容に誤りがある場合や、必要な項目の入力がされていない場合は、エラーメッセージが表示されますので、表示された内容に沿って、内容の修正をお願いします。

a) 「分科細目コード」、「分科名」、「細目名」について

審査を実施する分野については、分科細目に対応する9領域のいずれかに区分されます。一覧（分科細目コード表）

を参照して該当するコード番号を入力してください。なお、「総合」、「総合人文社会」、「総合理工」または「総合生物」に属する分科細目を選択した申請者は、「審査希望領域」から審査を希望することが可能な領域を選択してください。その他の分科細目については、当該細目に対応する領域で審査が行われるため、選択は不要です。ただし、「総合」に当たる細目を選択した場合は、書面審査では審査を希望した領域に区分され、合議審査においては全て「総合」に区分されます。

b) 【申請者（受入研究者）】欄で特にご注意いただきたい点

「部局名（英文）・（和文）」:

部局名（英文）・（和文）は、正式な部局名を入力してください。

「職名」:

「教授」、「准教授」、「講師」、「その他」から選択してください。また、「その他」に該当する場合は、正式な職名を入力してください。（英文も同様）

「e-Rad 研究者番号」: ※外国人特別研究員・一般のみ該当

e-Rad 研究者番号を有する申請者は入力してください。e-Rad 研究者番号は申請者の特定のため事務的用途に供するものであり、番号の記入の有無は審査に影響するものではありません。研究者番号を持たない場合は、番号欄に「9 9 9 9 9 9」と入力してください。

「所属機関・部局所在地」:

申請者の所属機関長の所在地ではなく、申請者の所属する部局所在地の住所等を入力してください。

「研究課題名」:

和文は40字以内、英文は100字以内で研究内容を簡潔にまとめて入力してください。括弧（「」、（））及び句読点（、。）についてもそれぞれ1字として数えます。また、英文については、語と語の間のスペースも1字として数えます（例:「research activity」は17字）。

「招へいを希望する期間」:

期間は1ヶ月単位とし、採用開始日及び採用期間を入力してください（採用終了日の入力不要）。また、各募集回（一般:第1~2回、欧米短期:第1~4回）で来日（研究開始）時期が異なるため注意してください。なお、招へい期間について候補者と十分に協議し、採用された後もできるだけ変更が生じないようにしてください。

c) 【外国人特別研究員候補者】欄で特にご注意いただきたい点

「氏名」:

氏名はパスポート表記を基にフルネームを入力してください。このうちファミリーネームは全体を大文字とし、ファーストネーム及びミドルネームについては、先頭の文字を大文字とし、その他は小文字とします。また、入力する文字は英語のアルファベットを使用し、ウムラウト等を用いしないでください。なお、ファミリーネームがなくファーストネームから始まる場合は、ファミリーネーム欄にファーストネームを入力しファミリーネーム欄は空欄としてください。

「国籍（国及び地域名コード）」:

一覧（国及び地域名コード表）を参照して該当するコードを入力してください（機関所在国及び博士の学位授与機関所在国についても同様）。

「現職名」:

候補者が学生の場合は、例えば「博士課程学生」（英文名:PhD Student）と入力してください。候補者の所属がない

場合は、「現職名」欄でその旨入力すれば、「所属機関」「部局名」「機関所在国」欄は空欄で構いません。

「博士の学位」:

取得もしくは取得見込を選択してください。学位の取得が見込の場合も極力、取得見込の年月日を入力してください。見込「日」が不明の場合は、当該月の「1日」を選択してください。

なお、専門職学位課程は、博士課程に含まれませんので、当該学位（日本の専門職学位や、米国におけるJDやMDなど）を以て申請することはできませんので、ご注意ください。

学位取得の有無については、可能な限り申請時において確認を取ることをお勧めします。（申請時には不要ですが）採用開始前に学位記の写しまたは学位取得証明書（原本）の提出がない場合は研究を開始することができません（本会指定の来日限度までに研究を開始できない場合は採用取り消し）ので、ご注意ください。（学位証明書の要件について詳しくは「日本学術振興会外国人特別研究員諸手続の手引」を参照してください。）

http://www.jsps.go.jp/j-fellow/j-fellow_14/09_tebiki.html

「他のフェローシップとの併願状況（その他）」:

40文字以内で入力してください。

「連絡先」:

ア 所属機関または自宅のうち、必ず採用通知の送付を希望する方（1または2）を選択してください。

イ 連絡先の住所は、候補者が採用となった場合、国際宅急便により採用通知及びその他関係書類を発送する宛先となります。私書箱（P.O.Box）等は指定せず、確実に受取りが可能な住所を入力してください。

ただし、他の手段がない場合には、私書箱を指定しても差し支えありません。なお、日本国内、海外（中国、韓国を含む）を問わず全ての連絡先は、必ずアルファベット（半角英数字）にて入力してください。また、電話番号、電子メールアドレスも、必ず入力してください。

ウ 所属機関を連絡先に指定する場合は、住所欄に所属機関及び部局名も入力してください。

「推薦者氏名」:

候補者の博士論文指導者等（申請者以外の者）からの推薦書に記載してある推薦者名を入力してください。（推薦者は1名とします。）なお、ファミリーネームがなくファーストネームから始まる場合は、ファミリーネーム欄にファーストネームを入力しファーストネーム欄は空欄としてください。推薦者が日本人の場合は日本語で入力してください。

「推薦者所属機関名」:

一覧（機関コード表）を参照して、コード欄に該当するコード番号を入力してください。また、その他（99999）に該当する場合は、正式な所属機関名を入力してください。

なお、海外の研究機関の場合は、「99999」を選択し、正式な所属機関名を入力してください。

d) 【外国人特別研究員と受入研究者との関係】欄で特にご注意いただきたい点

「1. 外国人特別研究員候補者との関係」:

過去5年間に採択された本会の国際交流事業と今回の申請に密接な関係がある場合、補足説明欄にその旨を明記してください。

例1) 現在サマープログラム事業で受け入れており、目覚ましい成果を上げているため当該分野の発展が見込まれる。

例2) 直接の面識は無いが、二国間交流事業を通じて親しくなった研究者から優秀な若手研究者がいると強い推薦を受けた。

3. FORM 2について

候補者はFORM 2を 英語または日本語で、ワードまたはPDFで作成してください。FORM 2は必ず候補者本人が作成したものを提出してください。候補者が作成した内容を翻訳したものは受け付けられません。

FORM 2は、本会において定められたものです。必ず指定年度(FY2018)、指定事業の様式を本会ホームページからダ

ダウンロードの上、作成してください。また、ページの加除、様式中の各項目欄について、枠の拡大、縮小、指定されていない項目の新設、項目の省略や注の削除その他の加工を施すことはできません。本会は万一、指定された年度(事業)ではない、または加工された申請書が提出された場合は、これを不備の書類とみなします。入力項目は基本的に色が付けられているセル以外の各項目全てになります。

FORM 2 に入力する際の文字の大きさ及びフォントについては任意としますが、文字の大きさについては9ポイント以上を推奨します。また、FORM 2 の最終ページ (F7) の「Signature」は自署としますが、電子画像等による署名または原本の PDF でも差し支えありません。

ファイルサイズが 3MB 以上の場合は、アップロード出来ません。

4. その他 FORM 2 各項目で特に注意していただきたい点

「Academic Degree」:

取得 (Obtained) もしくは取得見込 (Expected) を選択してください。学位の取得が見込の場合も極力、取得見込の年月日を入力してください。見込「日」(Day) が不明の場合は、当該月の「1日」を選択してください。

なお、専門職学位課程は、博士課程に含まれませんので、当該学位 (日本の専門職学位や、米国における JD や MD など) を以て申請することはできませんので、ご注意ください。「Type」には PhD 相当の学位名を記入してください。(申請時には不要ですが) 採用開始前に学位記の写しまたは学位取得証明書 (原本) の提出がない場合は研究を開始することができません (本会指定の来日限までに研究を開始できない場合は採用取り消し) ので、ご注意ください。(学位証明書の要件について詳しくは「日本学術振興会外国人特別研究員諸手続の手引」を参照してください。)

http://www.jspss.go.jp/j-fellow/j-fellow_14/09_tebiki.html

「E-mail Address 1」:

採用後も確実に利用可能・連絡可能なメールアドレスをご記入ください。

「A Letter of Reference/Recommendation」:

推薦書の作成者の所属機関と氏名が、実際に提出する推薦書記載と一致することを確認してください。

「Higher Education」:

現在高等教育機関に在籍する場合は、現在在籍する機関についても記入してください。

「Previous Employment」:

現職がある場合は、現職についても記入してください。

「Language Ability」:

日本語、英語の語学力について 5 から 1 の数字で各項目を自己評価してください。数字が大きいほど評価は高くなります。日本語、英語以外で研究上必要となる言語等があれば他 3 カ国語まで同様に記入することができます。

「List of Major Publications」:

査読中・投稿中のものは除きます。査読のある場合、印刷済及び採録決定済のものに限ります。

「Required Conditions for the Applicants of this Fellowship」:

書かれている条件を全て満たすことを確認してください。全て満たさない場合は申請できません。また条件を書き換えることはできません。書き変えた場合は虚偽の申請と見なし、受理しません。また採用後に条件を満たしていないことが明らかになった場合は、採用を取り消す場合があります。

5. 推薦書について

候補者の博士論文指導者等 1 名 からの推薦書は、1 件かつ計 1 ページとしてください。英語または日本語で作成してください。(レターヘッドに作成するのが望ましい。) 形式はワードまたは PDF とします。推薦の宛名は、申請者または本会理事長あてとしてください。推薦者の署名は自署とし、電子画像等による署名または原本の PDF でも差し支えありません。

申請者は、推薦書を作成することができません。申請者が候補者の博士論文指導者(指導教員)である場合は、例えば、論文審査に加わった指導教員以外の教員など、候補者の研究内容をよく知る者に作成を依頼してください。ファイルサイズが 3MB 以上の場合は、アップロード出来ません。